

令和2年度 事業報告（指定管理事業）

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等 220,529,982 円

1 文化事業 11,850,799 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 83,600 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを、4月・5月・7月・11月の4回、展示替えした。

(2) 企画展示事業 6,198,079 円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行った。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催した。

① 「いっぴんー学芸員おすすめの品ー」展

みなとびあの収蔵品の中から各学芸員がおすすめする「いっぴん」を選び見どころとともに紹介した。

開催期間 令和2年4月11日～6月21日 44日間

観覧者数 1,085人（うち有料観覧者 681人、無料観覧者 404人）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/21～5/10を臨時休館とし、会期を当初の6/7から6/21までに延長した。

② 「潟のくらし」展

新潟市域の潟や周辺の低湿地を活かしつつ営んできた先人の暮らしを振り返るとともに、潟をめぐる歴史・生物・地質など各分野の知見を紹介した。

開催期間 令和2年7月11日～8月23日 38日間

観覧者数 2,792人（うち有料観覧者 2,014人、無料観覧者 778人）

③ 第17回むかしのくらし展「新潟の昭和」

令和へと改元され、子どもたちにとっては遠い過去の時代となった昭和を取り上げ、その時代の新潟の人々の暮らしや風俗、町の様子などを紹介した。親・祖父母世代にとっては記憶に残る懐かしい時代であり、展示を媒介として世代を超えた語らいの場となった。

開催期間 令和2年9月12日～11月3日 47日間

観覧者数 10,039人（無料観覧者）

④ 「収蔵品展・新収蔵品展」

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展を毎年開催しているが、今年度は「ことわざ慣用句事典」というテーマで資料を紹介した。また、令和2年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催した。

開催期間 令和3年2月13日～3月28日 36日間

観覧者数 2,080人（無料観覧）

(3) 教育普及事業 357, 267 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報、ライブラリーなどを活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。ただし、感染症拡大防止のため制限・中止したものもある。

① 体験の広場事業

体験の広場ではハンズオン機能を制限し、一般見学者には展示見学を主とする施設運用に変更した。また、施設や資料を活用して実施する小学生や家族連れ・大人等を対象とした各種の体験プログラムについては、6月末から感染防止策を行ったうえで計56回実施した。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うほか、職場体験の中学生を受け入れるとともに、地域学習として市内の小学校へ出向いて授業を行った。また、新潟大学と連携して当館学芸員が講師をつとめる寄附講義はリモートで開講した。大学生を対象とする博物館実習は、通年および夏休み期間集中の2本を実施した。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的に、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

- ・博物館講座 全9回、古文書入門講座 全3回

※博物館講座1回は、感染症拡大防止のため中止とした。

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、感染拡大防止に配慮しながら活動を支援した。登録者数123人。

(4) 施設普及事業 1, 558, 953 円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

例年、博物館近隣の市民団体と共催で企画・開催している「堀とさくらのコンサート」、「夕涼みコンサート」、「みなと・しもまち・川まつり」は、感染症拡大防止のため中止となった。

新潟観光コンベンション協会が主催し、当館を会場に開催された「ニイガタ・クリスマス・マーケット 2020」(12/18~25)に全面協力した。夜間に開催され、プロジェクションマッピングやイルミネーション、出店などでにぎわった。

② みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき「新潟の近代化をたどる」(10/10)・館長バスツアー「村松・堀家をめぐる旅」(9/30)・館長講演会「孤峰俊明所懐—五十嵐俊明展に寄せて—」(12/19)・学芸員による講座「絵図でみる江戸時代の新潟町」(2/11)を実施した。

(5) 調査研究事業 612, 513 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 17号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 3, 040, 387 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

2 文化施設管理受託事業 208, 679, 183 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

※ 令和2年度歴史博物館入館者数 61, 151 人